

# 目次 Contents

2 市政功労者表彰式を開催しました	17 自治医科大学附属病院 連携協働コラム
3 Shimotsuke-City Topics まちの話題	18 図書館 Library Information
6 新庁舎	19 読書人
7 市民活動補助事業募集	20 健康予防・日常生活支援総合事業
8 税のお知らせ	22 保健だより  HealthInformation
10 人事行政の運営等の状況	26 医療コラム
11 新・下野市風土記	27 <b>生涯学習</b> だより
12 春の火災予防運動	28 <b>環境トピックス</b>
13 防災訓練	33 <b>Let's SPORTS</b>
14 薬師寺跡史跡まつり	36 しもサタ通信
15 しもつけ風土記の丘資料館からのお知らせ	38 暮らしの情報（イベントカレンダー）
16 国民年金だより	52 国際交流員マシアスのコラム

## 今月の表紙



下野市は、かんぴょう生産日本一です。最近では2月3日の節分の日には恵方巻きを食べる人が増えています。この恵方巻きにぜひ、下野市産のかんぴょうを入れて食べましょう！

表紙で、かんぴょう入り恵方まきを持っているのは、とちぎテレビのアイドルキャラクターユニット「まろに☆えーる」のかんぴょう普及担当であり、当市の特別住民でもある「瓜田瑠梨」さんです。瓜田瑠梨さんは、かんぴょうの妖精「かぴょーん」と共に、かんぴょうのPRのため日々奮闘しています。

## 今月の何の日

# 2月29日 跳躍の日

2016年はうるう年にあたり、4年に1回（厳密には400年に97回）の2月29日がやってきました。

英語では、2月29日のことを跳躍の日（Leap Day）と呼びます。これは、普段の年は前年の同じ日より曜日が1つだけずれるのに対し、うるう年の翌年は曜日が2つずれるため、曜日を飛び越える（Leap）日 が由来となっています。

また、かつてのイギリスでは、この跳躍の日に女性から男性へプロポーズすることが伝統的に公認されていて、求婚された男性はそれを断ることができない（！）とされていたそうです。女性側も男性側もドキドキなこの習慣は、第二次世界大戦中まで行われていたとのこと。

このように、暦の上で珍しいだけでなく、昔から人々にとって「特別な日」である2月29日ですが、この日が設けられている理由には地球の公転周期が関係しています。1年は365日ですが、実際に地球が太陽に対して1公転するのに要する時間（公転周期）は「365日と約6時間」であるため、この半端な約6時間を、4年に1回だけ2月29日を設けて調整しているのです（約6時間×4＝約24時間）。

ちなみに、うるう年は夏季オリンピックの開催年と重なり、今年（2020年）はスウェーデンの素晴らしい「跳躍」を見る機会も多くなると思いますが、皆さんそれぞれにとっても今年が「飛躍」の年にしたいですね。

